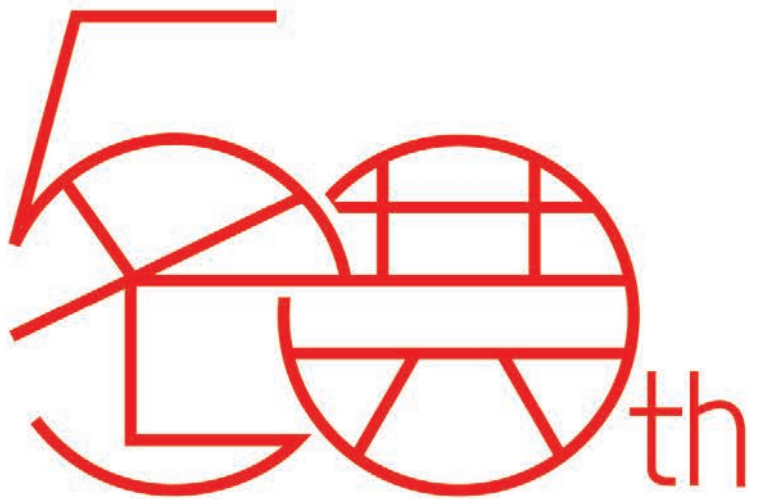




学生を育てた50年、育てられた50年！
感謝から感動に、そして融合へ！！



Nagoya University of The Arts 50th Anniversary



名古屋芸術大学開学50周年基金
ご支援のお願い



名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

50周年にあたって

ごあいさつ



“おもしろいこと”が社会に活力をもたらす

名古屋芸術大学(以下「名芸大」という。)は2020年に開学50周年を迎えます。

名芸大を設置した学校法人名古屋自由学院の沿革を概観しますと、美術・音楽との係わりは、幼児教育に起因していると思われます。幼稚園及び保育所の現場において、造形あそびや音楽を通して創造性を育むことになるからです。こうした芸術的な素養が重要であることに着目し、名芸大を設置した創立者故「水野錫子」名誉学院長の先見の明には、頭の下がる思いがいたします。

近年では、18歳人口の減少、大学間競争の激化、大学教育に対する社会ニーズの変化など、大学を取り巻く環境が目まぐるしく変化し、大学運営にとって厳しい状況が続いています。これまで大学は、教育・研究機関として進歩してきましたが、最近では、学生や大学の関係者だけでなく、加えて社会に貢献することが求められるようになってきています。

美術・デザイン・音楽・人間発達といった専門性の修得のみならず、これまで以上に幅広い見識の理解が必要といえます。作家や演奏家という自分の専門性を究める道だけではなく、名芸大で学んだ芸術の素養及び自分の能力を生かし、企業や社会の中で活躍する方が多くいらっしゃいます。

最近では、AI(Artificial Intelligence人工知能)が発達し、将来AIが行うことが可能な職業について報道されています。

では、名芸大で培われてきた感性はどうでしょう。人間の活動の中でAIに置き換えることができない部分及びAIを超えた人間の感性に訴えることが、今後社会から求められるようになるのではないかと考えており、このような人間の感性の教育を担うことが名芸大の使命ではないでしょうか。

名芸大は、学生自身をワクワクさせ、社会に活力をもたらすため、音楽では単なる演奏に留まらず、音楽に関連する全分野で支援し、聴衆に感動を与える演奏会の開催、独創的でユニークな作品の制作などにおいて、学生たちが「おもしろいこと」「おもしろいこと」の関西弁。)を追求するところから始まるのではないのでしょうか。

学生たちのワクワクするような「おもしろい」活動によって、社会で活躍している卒業生及び地域社会や産業界などと連携を図り、名芸大だからできる感性に働きかける部分での役割を果たしていく必要があると思います。

名芸大は、これからも学生が「おもしろいこと」を追求し、芸術の魅力を社会に発信し、優れた感性で社会を牽引できる人材を育成したいと存じます。これを支えるために、名古屋芸術大学へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人 名古屋自由学院 理事長
川村 大介



開かれた大学を目指す

まもなく平成という時代が幕を閉じますが、私が名古屋芸術大学に専任教員として赴任したのがちょうど30年前の平成元年でした。本学開学当時、大学というものは全国に500校程度で、現在の6割程度でした。そうした中、芸術に特化した大学を作ったこと、そのこと自体に勇気と素晴らしい先見性を感じます。私自信、大学卒業後、名古屋フィルハーモニー交響楽団に所属していました。ちょうど名フィルがプロ化する時期に当たります。東京のオーケストラよりも新しいことができるように思い名フィルに入団しましたが、オーケストラの運営に係わる中で、演奏するだけでなく運営していくことの重要性を痛感しました。そうした経験が、音楽文化創造学科やアートマネジメントコースへとつながっていきました。

これまでの芸術大学の教育は、100人の学生がいれば、100人ともプロフェッショナルの演奏家や作家になることを目指すような方向で考えられ組み立てられてきました。しかし実際には、プロになるのは一握りだけで、大部分の学生は大学で学んだそのものを職業とはせず、その経験を生かした職業に就き活躍しています。大学で専攻した分野でプロになれなかったとしても、違った形で才能を開花させることのほうが多いのが実情です。そうであるならば、学ぶことを幅広く捉え卒業後の進路に希望を持つことができるようしっかり学生を育成し、社会で活躍できるようにしたい、そんな思いが美術、デザイン、音楽を一つにしたボーダーレスという大学改革の根底にあります。さまざまな芸術の領域に境がなくなり、ジャンル

が融合して新しい芸術が生まれてきています。旧来のクラシック音楽やファインアートを第一に置く価値観だけでは、時代や社会の変貌に追従できていないことは明らかです。芸術にとって技術を磨くことは大切なことですが、技術だけに走ることなく社会への関心や問題意識を持ち、社会とつながりを持つことがますます重要になってくると考えます。一昨年から芸術教養領域を新たに設けましたが、将来、大きな意味を持つようになることを確信しています。

日本の大学は、これまで18歳人口に頼って運営されてきました。しかし、諸外国の大学では学生の20～30%が社会人や高齢者のリカレント学習(学び直し)です。そうしたことを考えれば、まだまだ大学が行うべきことはたくさんあります。教育と研究が大学の大きな役割ですが、教育については、特定の年齢層に向けたものではなく学びたいという人に門戸を開き、もっと積極的に応えていく努力が必要であると考えます。名古屋芸術大学は、他の芸術大学がなしえなかった改革を行い、新たな方向性を目指し先頭を走っているという自負があります。改革がここまで推進できましたのも、理事の方々、本学に学んだ同窓生、在学生ご父母、教職員ならびに各界の皆様のご理解とご支援、ご協力の賜物と深く感謝しております。今後さらなる改革を実現し、全国に冠たる芸術系総合大学を目指していく所存です。

名古屋芸術大学 学長
竹本 義明

名古屋芸術大学が目指すもの(50周年～)

名古屋芸術大学が最も大切にしていること、それは芸術を通じた人間教育です。結果のわからないことに対して希望を持ち、立ち向かってゆく勇氣、それらを支え人間や社会に生き生きとした活力をもたらすのが芸術の力です。名古屋芸術大学は、芸術の力、また、そのエネルギーを養うための場としてありたいと取り組みを続けてまいりました。大学改革もそのひとつです。芸術系総合大学として社会に応えられるよう、専門性を維持しそこに軸足を置きながらも領域を越えあらゆるものに挑戦できる、そんなボーダーを取り払う改革を進めてまいりました。今後は、このボーダーレスという改革をさらに深化させます。

現在、大学の国際化や国際競争力の向上が重要な課題となってきています。名古屋芸術大学では、新たな教育プログラム「Worldia」を導入し国際化の流れに対応してまいります。「Worldia」とは、2019年度から導入する新たな教育改革の名称で、「World + idea」の造語で、国際的に活躍できる人材育成を目指すプロジェクトです。「Worldia」は3つのセクションで構成され、音楽・芸術分野で世界クラスの表現力を身につける「アート & エデュケーションエキスパートセクション」、世界・異文化に自分を伝えるための語学力を身につける「グローバルエキスパートセクション」、学びを社会に還元するための思考力を身につける「キャリアエキスパートセクション」、これら3つをプロジェクトの軸として、取組を進めてまいります。

カリキュラムも一層の拡充を図ります。美術領域全体で統一した基礎学習を導入し、芸術学部共通の初年次教育を拡充してまいります。教育の質保証として、カルテの導入、IT化、プログラム評価など、多角的視野で効果の検証を行うとともにそれらの可視化を進めてまいります。教育の多様化を図りさらに多様な学生の受け入れ体制を強化することで、地域や領域を超えた異なる能力、才能に出会うことで、新たな発想を得ることができる、豊かな文化・芸術を創出できる学びの場を目指します。

より良い学びの場を提供するという使命において、教育環境の整備も推し進めます。ラーニングコモンズや自由に利用できるオープンスペースの拡充、また、入学生の増加に対応した施設利用の効率化、ネット・メディアの活用で東西キャンパスの連携活用を進めます。もちろん、単に環境を整備するだけに留まらず、学びの場は学生が主体となって創り上げるものであるということを教職員が再確認し、共有するものといたします。

大学の国際化とともに、地域社会への貢献も果たすべき役割として重要な課題となってきています。文化、芸術における国際的な産学官連携を重要な要素としてとらえ、積極的に推進してまいります。地域公立文化施設と地域住民が望む文化的コモンズを地域社会と協力して実現すること、リカレント教育、生涯学習を行政との協力で実施することなど、連携を推進してまいります。

名古屋芸術大学では、これらの教育を通して、自身がキャリアを作る生き方のできる人材を育成することを目指します。キャリア教育の充実と就職支援体制を強化し、就業意識とジェネリックスキル能力を発揮できる人材の育成を進めてまいります。

既存の概念に捉われない
新しい総合芸術大学がはじまります



50周年記念事業▶▶▶▶▶

50周年記念事業

学生を育てた50年、育てられた50年!～感謝から感動に、そして融合へ!!

音楽領域



名古屋芸術大学開学50周年記念オペラ公演 プッチーニ作曲「トゥーランドット」

開催時期 2021年3月14日[日] (予定)

会場 愛知県芸術劇場(予定)

開学半世紀の集大成として、現在各方面で活躍中の本学OB・OGを中心に、オペラ公演を開催致します。現在日本のトップ歌手として活躍中の笛田博昭氏、伊藤貴之氏、中井亮一氏を中心に、演奏、舞台スタッフは音楽領域、舞台美術関係を美術領域、映像関係をデザイン領域が担当し催行致します。本学半世紀の集大成として、全学をあげた公演に、ぜひご期待ください。

美術・デザイン領域



名古屋芸術大学開学50周年記念展覧会 「Future and Past」(仮題)

開催時期 2020年9月～10月頃(予定)

会場 名古屋芸術大学
西キャンパス

美術領域・デザイン領域の合同企画として、活躍する卒業生を中心に展覧会を開催いたします。長年にわたり本学が輩出し活躍する優秀な卒業生の実績をご紹介します。そして、開学から50年の歴史を振り返ります。

芸術教養領域



リベラルアーツ& アーツサロン“Ex”(仮)

開催時期 2020年12月24日[木]～
27日[日] (予定)

会場 名古屋芸術大学
東キャンパス

芸術教養領域 リベラルアーツコースの教員と学生らが、地域に開かれた交流の場を設けます。そこで、トークとアート、サウンド、パフォーマンスなど、多様なジャンルの表現がボーダーレスに融合する実験的なイベントを開催します。

人間発達領域



人間発達フェスティバル

開催時期 2020年9月26日[土]

午前 大学内に8つのブースを設け、子どもたちと学生達と遊びや物作りを通して、交流を促進。

午後 特別公開講座を開き、学生と共に希望する地域の保育士、幼稚園の先生、保護者と保育・教育に関する講演を幅広く開催。

会場 名古屋芸術大学
東キャンパス

人間発達学部特別公開講座を中心に、遊びのブースの中で、地域の子どもたちと学生達とのふれあいの一日をご提供いたします。

この他にも、多くの記念事業を企画いたしております。詳細は決定しだいHP上にて公開いたします。

同窓会会長ごあいさつ



開学50周年に寄せて

音楽同窓会長 山田 正文

開学50周年おめでとうございます。私は同窓会長として、教員として、25年以上大学と関わりを持たせてもらい意味深く心に感じるものがあります。以前よりコースが増えいろいろな形で音楽に関わる学生が増えた一方で、演奏を志す学生が減っているのも少し寂しい現実ではありますが…。さて、今回50周年の事業として、現在卒業生として、国内外で活躍している音楽、美術の卒業生たちに事業を盛り上げてもらうと同時に、名古屋芸術大学の卒業生の活躍を卒業生やその他一般の方にも広く知ってもらういい機会だと思います。これに

より、彼らのようにと考える学生、卒業生が増えていき、いろいろな現場で名古屋芸術大学の名前が多数見られるようになることを切に願います。

最後になりましたが、この事業により、ますます大学が発展していけるように、成功を心から願います。卒業生の皆様もこの開学50周年の文字を見かけられた折には、是非ともご協力、サポートをお願いします。皆さんと共に盛り上げていきましょう。



開学50周年から100周年に向けて

美術・デザイン同窓会長 中島 弘敬

この度名古屋芸術大学が50周年を迎えられる事を心からお喜び申し上げます。

1970年の創立以来、20,000人に近い卒業生を輩出されました。今日まで50年の長きに渡り幾多の困難を乗り越え大学の運営に力を注いで来られた歴代の理事長、学長、大学当局の方々に置かれましては深甚なる敬意と謝意を申し上げる次第です。私たち同窓会と致しましても、卒業生の皆様への支援と組織の充実を計るべく2015年に一般社団法人として登記いたしました。大学の社会からの評価は、在校生だけで

はなく卒業生の社会での活躍と一丸になって評価を高めるものだと思います。社会に貢献できる様、同窓会の組織をあげて支援させて頂く所存です。

これからは100周年の新しい半世紀への船出となります。社会が抱える少子高齢化等の厳しい環境下であっても大学と共に存続し発展出来る同窓会としてあり続けるよう同窓会役員一同努力してまいります。

名古屋芸術大学が100年、200年と続くいつまでも魅力のある大学であり続けることを祈念致します。



“成長”を認めていただいた学生生活

人間発達学部同窓会長 菅野 謙一

名古屋芸術大学へは『感謝』しかありません。

私は世間の右も左もわかっていない18歳の時に人間発達学部に入りました。そんな私は高校生気分を忘れることができず、先生や職員の方にたくさんのご迷惑とご心配をおかけしました。しかし、私がどれだけご迷惑をおかけしても先生や職員の方は私を見放すことは決してしませんでした。また、それだけではなく、私のちょっとした変化や成長に気付いてくださったり、認めてくださったりしました。

今は小学校教諭という職に就き、たくさん子どもたちに

囲まれ、充実した毎日をご過ごしています。子どもたちと関わる中でモットーとしていることは「ちょっとした変化や成長に気付く、認める」ということです。大学4年間で学んだことは私のかけがえのない財産です。本当に『感謝』しかありません。ありがとうございます。

名芸大は50周年を迎えようとしています。教育者としての基盤形成だけでなく、人として成長できる母校を誇りに思い、さらなる発展を祈念申し上げます。



充実した学生時代

短期大学部同窓会長 舟橋 文子

名古屋芸術大学50周年を迎える事に心からお祝い申し上げます。

半世紀前になります。名鉄徳重駅下車、一直線に東に歩く事10分、「名古屋自由学院短期大学」がありました。電車は普通停車のみ、遅刻すれば学生も先生も西春駅から割り勘でタクシー相乗りです。私は保育科卒業です。団塊世代の学生なら共通の話題に盛り上がります。創設者水野鈿子先生のお会いです。特に服装には厳しい指導がありました。白・黒・地味スタイルです。しかし、休憩時間ともなれば、フォークソング・反戦歌をハモリながら合唱、2年間の学生生活は毎週実技検閲、提出物、とにかく笑いと焦りの連続でした。

芸大開学前には、草取り・清掃・図書館の本運びに駆り出される事しばしば。社会に出て知識と忍耐と行動力を培った様です。最高の職業に就き、腹心の友と出会うたびに、皆感謝の言葉が響きあいます。人は歳を重ねるほど、遠い遠い若き青春時代を過ごした我が母校を思い出します。卒業生の皆さん、我が母校の発展を応援して行きましょう。すでに時代の流れなのではないでしょうか、短期大学部閉学から10年が経ちますが、少子化が急速に進み、私学試練の時代を迎えます。更なるご発展をご祈念申し上げます。

至誠奉仕の学舎に栄あれ、我等の上に光あれ。

基金概要・お申込み▶▶▶▶▶

「名古屋芸術大学開学50周年基金」募集要項

募集対象

個人の方：1口5,000円。できれば2口以上のご協力をお願いします。
法人の方：1口あたりの金額は特に定めておりません。

募集期間

2018年12月1日～2021年3月31日

目標額

1億円

お申込み方法

お申込方法は2つあります。

1. 「インターネット」でのお申込み

本学の寄附金収納システムから申し込むことができます。
クレジットカード、コンビニエンスストア、
Pay-easy（インターネットバンキング）でのお振込みが可能です。



もしくは、<http://www.nua.ac.jp/50th/syunen.html> にアクセスしてください。

ご利用いただける
クレジットカード



ご利用いただける
コンビニエンスストア



ご利用いただける
ネットバンキング



2. 「振込用紙」でのお申込み

専用の「振込用紙」に必要事項をご記入のうえ、三菱UFJ銀行または
ゆうちょ銀行でお振込みください。
三菱UFJ銀行本店・各支店からお振込みいただいた場合は、振込手数料が無料となります。
ゆうちょ銀行からお振込みの場合は、所定の手数料が必要となります。
詳細は最寄りの郵便局にお尋ねください。

振込先銀行

 三菱UFJ銀行 ゆうちょ銀行

その他

【個人情報について】

寄附お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、寄附申込者の管理、礼状、寄附金受領書等、各種案内等の送付のみに利用し、ご本人の同意を得ずに個人情報を第三者に提供することはありません。

【その他】

寄附の進捗状況、支出事業とその金額については、本学ホームページ上に定期的に報告します。

寄附者への 謝意

◆ご芳名の掲載

寄附者のご芳名を本学ホームページおよび大学広報誌に掲載します。

◆寄附者の顕彰

個人で累計 10 万円以上、法人で累計 30 万円以上のご寄附をいただいた方には、『名古屋芸術大学開学 50 周年記念事業寄附者銘板』にご芳名を刻印し末永く顕彰します。

◆招待券

2 口以上ご寄附いただいた方には、記念事業の招待券を送付します。

名古屋芸術大学への寄附金に対する税制上の優遇措置について

ご寄附された場合、原則として次の税制上の優遇措置を受けることができます。

① 所得税に関する優遇措置

▶「特定寄附金」(所得控除)

寄附金額(総所得金額等の 40% が限度) - 2 千円 を所得から控除

所得控除後の所得に税率を乗じるため、所得税率が高い高所得者ほど減税効果が大きくなります。

② 個人住民税に関する優遇措置

さらに

▶対象自治体(※1)では、住民税の控除を受けることができます。

学校法人名古屋自由学院(※2)への寄附金を寄附金税額控除の対象として条例で指定している都道府県・市町村にお住まいの方は、個人住民税の寄附金税額控除の適用を受けることができます。

※1 対象の自治体は、本学寄附金HPを参照いただくか、各自治体へお問い合わせください。

※2 名古屋芸術大学の経営母体は「学校法人名古屋自由学院」です。

③ 所得税および個人住民税に関する手続き

- ア 所得税と個人住民税について、両方とも優遇措置を受ける場合は、寄附をした翌年に所轄税務署で所得税の確定申告を行ってください。
- イ 個人住民税の寄附金税額控除のみの適用を受ける場合は、お住まいの市町村へお問い合わせください。
- ウ 免税の手続きに必要な本学の「寄附金受領書等」と「特定公益増進法人の証明書の写し」は、寄附金が本学に入金され所定の手続きが終わり次第お送りいたします。

個人

法人の税制上の優遇措置

① 特定寄附金・・・寄附金を一定の限度額まで損金に算入できます。

- ア この寄附金は、一般寄附金の損金限度額とは別枠で、損金として算入できます。
- イ 免税の手続きに必要な本学の「寄附金受領書等」と「特定公益増進法人の証明書の写し」は、寄附金が本学に入金され所定の手続きが終わり次第お送りいたします。
- ウ 資本金のない法人、公益法人等の場合は、上記損金算入限度額を算出する際の率等が違いますのでご注意ください。詳しくは、法人税法、国税庁の HP 等でご確認ください。

② 受配者指定寄附金・・・日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄附金の全額を損金に算入することができます。

- ア この寄附金は、一般の寄附金の損金算入限度額と別枠で損金に算入できます。
- イ 免税の手続きに必要な本学の「寄附金受領書等」と「特定公益増進法人の証明書の写し」は、寄附金が本学に入金され所定の手続きが終わり次第お送りいたします。
- ウ 資本金のない法人、公益法人等の場合は、上記損金算入限度額を算出する際の率等が違いますのでご注意ください。詳しくは、法人税法、日本私立学校振興・共済事業団のHP等でご確認ください。

法人

名古屋芸術大学の沿革

- 1970年4月1日 愛知県西春日井郡師勝町熊之庄及び同郡西春町徳重に「名古屋芸術大学」開設
(入学定員 音楽学部70人(声楽科10人・器楽科25人・音楽教育学科35人))
(入学定員 美術学部80人(絵画科30人・彫刻科10人・デザイン科40人))
- 1975年4月1日 「名古屋芸術大学」の収容定員の増加
(入学定員 音楽学部110人(声楽科15人・器楽科35人・音楽教育学科60人))
(入学定員 美術学部120人(絵画科45人・彫刻科15人・デザイン科60人))
- 1986年4月1日 「名古屋芸術大学」の収容定員の増加
(入学定員 音楽学部160人(声楽科30人・器楽科60人・音楽教育学科70人))
(入学定員 美術学部180人(絵画科70人・彫刻科20人・デザイン科90人))
- 1992年4月1日 「名古屋芸術大学」の期間を付した入学定員の増加
(入学定員 音楽学部175人(声楽科30人・器楽科75人・音楽教育学科70人))
(入学定員 美術学部220人(絵画科80人・彫刻科25人・デザイン科115人))
- 1995年4月1日 名古屋芸術大学「大学院美術研究科造形専攻」修士課程開設(入学定員10人)
- 1997年4月1日 名古屋芸術大学「大学院音楽研究科声楽専攻」及び「器楽専攻」修士課程開設(入学定員 声楽専攻5人・器楽専攻6人)
- 2000年4月1日 「名古屋芸術大学」の収容定員の増加
(入学定員 音楽学部185人(声楽科50人・器楽科85人・音楽教育学科50人))
(入学定員 美術学部305人(絵画科80人・彫刻科50人・デザイン科175人))
- 2001年3月31日 名古屋芸術大学短期大学部「児童教育科」及び「児童教育科第二部」廃止
- 2001年4月1日 ①名古屋芸術大学美術学部彫刻科を美術学部造形科に改組
②名古屋自由学院短期大学を名古屋芸術大学短期大学部に改組
- 2001年4月1日 名古屋芸術大学音楽学部「音楽文化応用学科」及び美術学部「美術文化学科」開設
(入学定員(音楽文化応用学科50人・美術文化学科30人))
- 2001年4月1日 名古屋芸術大学短期大学部文科「国文専攻課程」の募集停止
- 2002年3月31日 名古屋芸術大学短期大学部「文科」廃止
- 2002年4月1日 名古屋芸術大学「デザイン学部デザイン学科」開設(入学定員175人 第3年次編入定員10人)
- 2002年4月1日 名古屋芸術大学美術学部「デザイン科」の学生募集停止(ただし、3年次編入は平成16年4月から学生募集停止)
- 2004年4月1日 名古屋芸術大学「大学院音楽研究科音楽学専攻修士課程」開設(入学定員8人)
- 2005年4月1日 名古屋芸術大学音楽学部「演奏学科」及び「音楽文化創造学科」開設
(入学定員 演奏学科115人、音楽文化創造学科120人)
- 2005年4月1日 名古屋芸術大学「大学院デザイン研究科デザイン専攻修士課程」開設(入学定員10人)
- 2005年4月1日 名古屋芸術大学音楽学部「声楽科」、「器楽科」、「音楽教育学科」及び
「音楽文化応用学科」の学生募集停止(ただし、3年次編入は平成19年4月から学生募集停止)
- 2006年3月31日 名古屋芸術大学美術学部「デザイン科」廃止
- 2007年4月1日 名古屋芸術大学「人間発達学部子ども発達学科」開設(入学定員140人 第3年次編入定員10人)
- 2008年3月31日 「名古屋芸術大学短期大学部」廃止
- 2008年3月31日 名古屋芸術大学音楽学部「声楽科」、「器楽科」、「音楽教育学科」及び「音楽文化応用学科」廃止
- 2008年4月1日 名古屋芸術大学美術学部「美術学科」開設(入学定員160人)
- 2008年4月1日 名古屋芸術大学美術学部「絵画科」、「造形科」及び「美術文化学科」の学生募集停止
(ただし、3年次編入は平成22年4月から学生募集停止)
- 2011年4月1日 名古屋芸術大学「大学院人間発達学研究科子ども発達学専攻修士課程」開設(入学定員10人)
- 2012年4月1日 「名古屋芸術大学 栄サテライト」開設
- 2013年3月31日 名古屋芸術大学美術学部「絵画科」廃止
- 2014年3月31日 名古屋芸術大学美術学部「造形科」及び「美術文化学科」廃止
- 2015年4月1日 「名古屋芸術大学」の収容定員の変更
(入学定員 音楽学部150人(演奏学科60人・音楽文化創造学科90人))
(入学定員 美術学部120人(美術科120人))
- 2017年4月1日 名古屋芸術大学「音楽学部演奏学科、音楽文化創造学科」、「美術学部美術学科」及び
「デザイン学部デザイン学科」の学生募集停止(ただし、3年次編入は平成31年4月から学生募集停止)
- 2017年4月1日 名古屋芸術大学「音楽学部演奏学科、音楽文化創造学科」、「美術学部美術学科」及び
「デザイン学部デザイン学科」を改編し、「芸術学部芸術学科」を開設
(入学定員 芸術学部445人(芸術学科445人))※学生募集停止学部への入学定員を振替え
- 2017年9月29日 「名古屋芸術大学地域交流センター」を名古屋市中区(納屋橋)に開設



音楽学部校舎



体育館



新本館(1号館)



デザイン棟(X棟)

【表紙ロゴマーク】

2017年7月実施の「名古屋芸術大学開学50周年記念事業」ロゴマーク・ロゴタイプデザインコンペティションにおいて、グランプリとして選ばれた作品です。
グランプリ受賞者：小林 園子(旧姓:吉田) デザイン学部デザイン学科VDコース 2003年3月卒

名古屋芸術大学開学50周年基金のお問い合わせ

学校法人名古屋自由学院
法人事務局内寄附事業担当

〒481-8502
北名古屋市熊之庄古井281

TEL : 0568-48-1550
FAX : 0568-48-1551
E-mail : info-kifu@nua.ac.jp

※名古屋芸術大学の経営母体は「学校法人名古屋自由学院」です。